

## 令和7年度営農指導協議会畜産技術研修会（視察研修会）が開催されました

令和7年6月26日、令和7年度営農指導協議会畜産技術研修会が開催され、県関係機関、県畜産団体、JA、JA全農かながわ、農業共済組合の職員27名が参加しました。

今回の研修では、東京都青梅市の東京都農林水産振興財団青梅畜産センター（以下、青梅畜産C）と東京都西多摩郡日の出町の協同乳業株式会社東京工場（以下、協同乳業）を視察しました。

青梅畜産Cは、ここで開発された「トウキョウX」、「東京しゃも」、「東京うこっけい」の3種の系統を維持し、生産者に配付する事業を行っており、中でも「トウキョウX」、「東京うこっけい」は東京都以外の農家にも配布されています。「トウキョウX」は基本ルールを設けて、飼料や飼育方法の取り決めをしていて、価格が高くても売れ行きは安定している旨の説明がありました。

また、年間を通じて、多くの学校、団体の見学を受け入れています。春や秋には家畜ふれあいデーも開催されている旨の説明を受けました。

その後、見学コース（飼養衛生管理区域外）を巡り、畜舎や圃場の説明を受けました。畜舎には寒冷紗などの暑熱対策が施され、その周りには広い放牧場がありました。

協同乳業は、メイトー（名糖）ブランドで牛乳やチーズなどの様々な乳製品の製造販売、多摩地区の酪農家の生乳のみで作られている「東京牛乳」を製造販売していて、給食としての実績もあり生徒さんから好評を得ています。

工場長から「東京牛乳」開発の説明があり、生産者、酪農団体、乳業メーカー、牛乳販売業団体の四者が開発段階から話し合い、商品化にこぎつけた経緯に感銘を受けました。

その後、牛乳やヨーグルトの製造過程を見学し、最後に「東京牛乳」と「農協牛乳」の試飲（200ml）により、味の違いを確認しました。それぞれ特徴のある良好な風味でした。

昼食は埼玉県日高市にあるサイボクのレストランで取りました。ここは豚のテーマパークとして、広大な無料駐車場、食肉加工工場、パン工房、精肉及び各種加工品の販売、地元の野菜やお茶などの名製品の販売、アスレチック場、温泉施設など多くの施設があり、農業6次産業化の成功例として参考になりました。

今後とも畜産技術センターは、今回の視察研修で得られた知見を活かし、県内の生産物のブランド化に向け生産者を支援していきます。

営農指導協議会（事務局：JA神奈川中央会）では、県関係機関、県畜産団体、JA等の畜産技術職員を対象とし、年に1度、県外の先進事例について現地視察研修会を開催しており、畜産技術センターは、研修の企画や当日の運営に対し協力しています。



座学(青梅畜産C)



施設見学(青梅畜産C)



畜舎(青梅畜産C)



畜舎(青梅畜産C)



座学(協同乳業)



試飲&試食(協同乳業)



記念写真(協同乳業)